



2024年 環境経営活動レポート



協和工業株式会社



※環境省

エコアクション21

認証登録番号0000168

KYOWA

対象期間 2024年4月～2025年3月

発行日 2025年5月6日

目次

1. 環境方針
2. 環境システム組織図
3. 事業の概要
4. 環境目標とその実績（全体）
5. 環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況及びその評価結果（本社、町田）
6. 次年度環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況（本社、町田）
7. 環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況及びその評価結果（大桑事業所）
8. 次年度環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況（大桑事業所）
9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
10. 代表者による全体の見直しと評価

ミクロンへの限りない挑戦 精度を極めた協和工業 加工部品





1.環境経営方針

基本方針

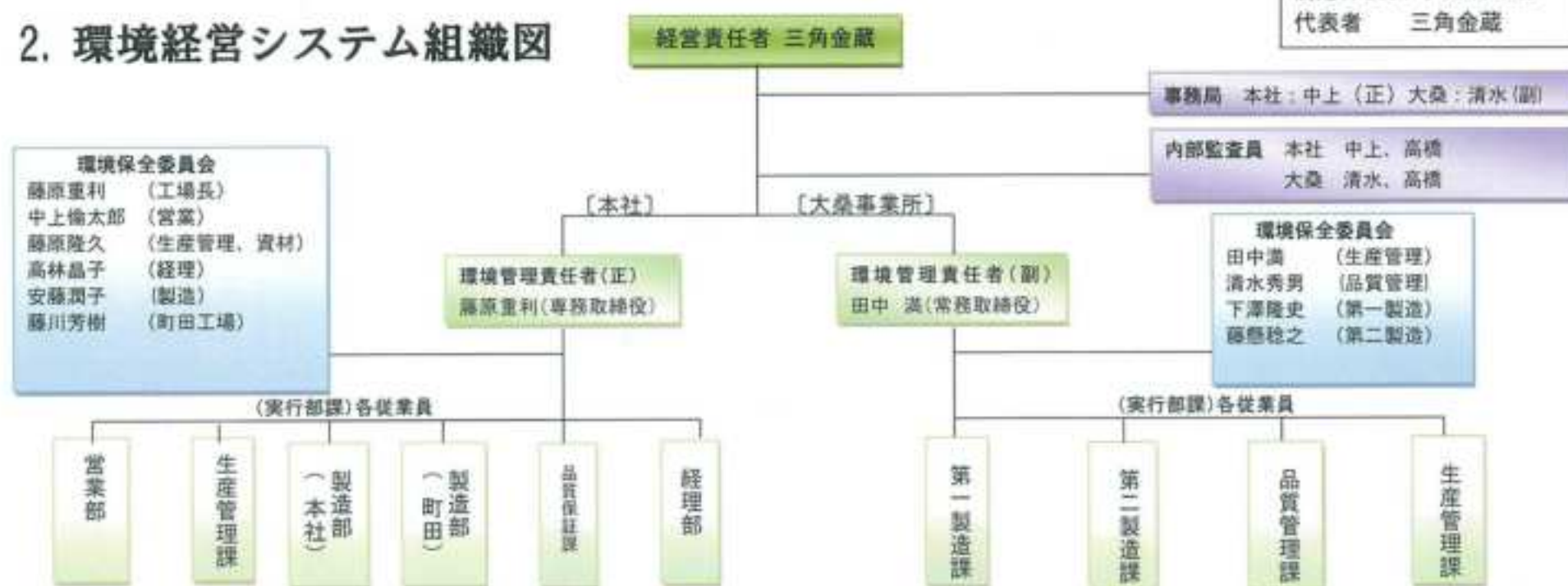
私たちは、地球環境の保全が最重要課題の一つであることを認識し、全ての事業活動において環境問題を重点課題とし、環境に配慮した製品及びサービスを提供し環境負荷の低減に努めます。

行動方針

- (1) 環境経営活動において、製品及びサービスが環境に与える影響を常に認識し、環境汚染の防止を推進すると共に環境経営の継続的改善を誓約する。
- (2) 環境関連の法律、規制、その他の要求事項を遵守し、環境保全に努める。
- (3) 全ての部門で業務の効率化と無駄の排除を行い、二酸化炭素排出量、廃棄物、排水量、化学物質使用量などの削減及びグリーン購入、調達を努める。
- (4) この方針は文書化し関係従業員に周知徹底すると共に、広く一般に開示します。

改訂日 2023年1月6日
改訂日 2022年1月7日
改訂日 2018年1月8日
制定日 2004年10月1日
代表者 三角金蔵

2. 環境経営システム組織図





3. 事業の概要

(1) 協和工業株式会社

代表取締役 三角金蔵

本社住所 : 神奈川県川崎市麻生区下麻生 2-4-15

町田工場住所 : 東京都町田市野津田町 280 番地

大桑事業所住所 : 長野県木曾郡大桑村殿中尾平 35-35



(2) 環境経営保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者 専務取締役 (正) 藤原重利 (本 社)

責任者 常務取締役 (副) 田中 満 (大桑事業所)

担当者 営業係長 (正) 中上倫太郎 (本 社)

☆連絡先 TEL:044-988-1462 FAX:044-988-1391

担当者 品質保証 (副) 清水秀男 (大桑事業所)

☆連絡先 TEL:0264-55-3511 FAX:0264-55-4117

☆ホームページ <https://www.kyowakogyo.co.jp>

☆E-mail honsya@kyowakogyo.co.jp

(3) 事業所の規模及び活動 認証登録

1965年 2月 1日設立 現在従業員数 人(全体)

・本 社	敷地の総面積	900㎡	、	建屋面積	850㎡
・大桑事業所	敷地の総面積	13,990㎡	、	建屋面積	3,600㎡
・町田工場	敷地の総面積	585㎡	、	建屋面積	579㎡

認証登録のサイト及び活動

上記3社の会社組織にて活動中。2021年より3年計画でEA21環境マネジメントシステムを取り組んでいます。

(4) 事業内容

1. 金属加工部品（車載用部品、産業機器部品等）の製造
2. 精密シャフト部品の製造

(5) 事業の規模活動規模

〔協和工業㈱ 全体〕

活動規模	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
主要製品生産量	t	21,947(修正)	21,947(修正)	22,430	26,360	25,857	22,237
従業員数	人	144人(町田工場含む)	140人(町田工場含む)	140人(町田工場含む)	140人(町田工場含む)	140人(町田工場含む)	126人(町田工場含む)
事業所敷地の面積	㎡	15,475	15,475	15,475	15,475	15,475	15,475
主要製品生産本数	百万本	1,440	1,152	1,175	1,245	1,220	1,049

環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況 (全体)

4/18



当社については、本社、町田工場、大桑は 2021 年の実績により、3 年計画で目標を掲げて環境活動の取り組みを開始した。廃棄物排出量、水の排水量、二酸化炭素排出量、化学物質使用量の実績は以下の通りである。原単位は加工高(億円)であり、2024年度については総量を記載した。

③二酸化炭素排出量は、原単位と排出量を表示しています。

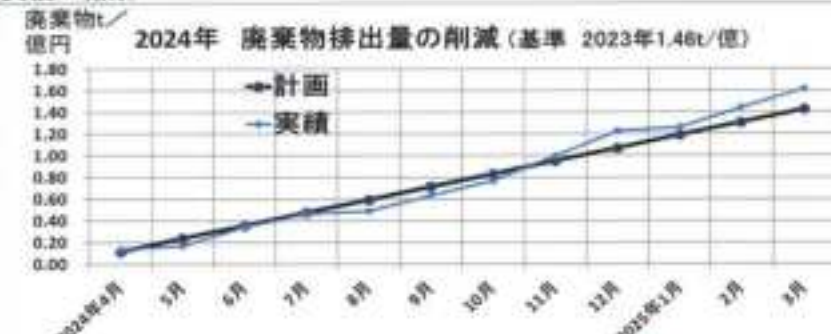
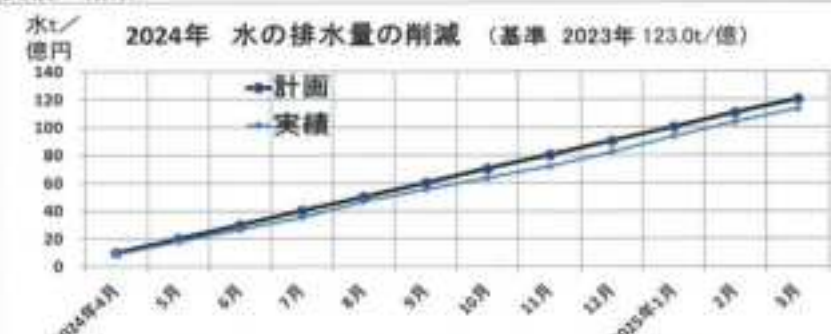
＜環境目標と実績＞ 町田工場 2016 年より活動開始(値は本社、町田工場合算値)

＜担当部門及び責任者＞

No.	項目	原単位	基準年度 (合計実績)	2022 年度	2023 年度 (2022 年基準値)	2024 年度 (2023 年基準値)
①	廃棄物排出量	t / 億円	2021 年度 実績 (本社、町田、大桑)	目標 28.73 (2%減)	目標 24.35 (2%減)	目標 23.86 (4%減)
			合計 29.32	実績 24.85 (14%減)	実績 22.69 (6.8%減)	実績 22.05 (0.2%減) 総量 101.98t
②	水の排水量	t / 億円	2021 年度 実績 (本社、町田、大桑)	目標 1,558 (2%減)	目標 2,467 (2%減)	目標 2,416 (4%減)
			合計 1,590	実績 2,517 (62%増)	実績 2,306 (6.5%減)	実績 2,446 (6.0%増) 総量 12,807t
③	二酸化炭素排出量 <排出係数> 本社、町田 0.423 (Kg-CO2/kWh) (2021 年係数) 大桑 0.433 (Kg-CO2/kWh) (2022 年係数)	Kg-CO2 / 億円	2021 年度 実績 (本社、町田、大桑)	目標 301,616 (2%減)	目標 267,605 (2%減)	目標 262,143 (4%減)
			合計 307,772	実績 273,066 (10%減)	実績 251,545 (6.0%減)	実績 241,878 (3.8%減)
		排出量 Kg-CO2 ※原単位 無し	2021 年度 実績 (本社、町田、大桑)	目標 1,687,433 (2%減)	目標 1,503,349 (2%減)	目標 1,472,668 (4%減)
			合計 1,721,181	実績 1,590,234 (10%減)	実績 1,398,691 (12.0%減)	実績 1,302,823 (6.9%減)
④	化学物質 使用量	t/億円	2021 年度 実績 (本社、町田、大桑)	目標 8.12 (2%減)	目標 7.964 (2%減)	目標 9.04 (2023 年基 準に変更)
			合計 8.28	実績 8.12 (0.1%減)	実績 9.235 (16.0%増)	実績 8.279 (10.4%減) 総量 14.39t

No.	目標項目	主担当部門	責任者
本 社 / 町 田 工 場	① 廃棄物排出量の削減 (廃棄物、廃液排出量削減)	生産管理、資材、品質保証 営業事務管理、 経理 製造 (本社、町田)	藤原工場長、中上係長、 藤原係長、高林部長 藤川工場長
	② 水の排水量の削減 (ムダを無くす)	"	"
	③ 二酸化炭素排出量の削減 (ムダを無くす)	"	"
	④ 化学物質使用量の削減 (ムダを無くす)	"	"
	⑤ 製品、サービスに関する環 境の配慮 (環境負荷物質 の管理) ムダを無くす	"	"
大 桑 事 業 所	① 廃棄物排出量の削減 (廃棄物、廃液排出量削減)	第一製造部門、第二製造部門 生産管理部門、品質管理部門	下澤課長、藤懸課長 田中工場長、清水部長
	② 水の排水量の (ムダを無くす)	"	"
	③ 二酸化炭素排出量の削減 (ムダを無くす)	"	"
	④ 化学物質使用量の削減 (ムダを無くす)	"	"
	⑤ グリーン購入 (エコ製品の購入量)	"	"
	⑥ 製品、サービスに関する環 境の配慮 (環境負荷物質 の管理) ムダを無くす	"	"

環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況(本社、町田工場) 5/18

2024年度目標	取組み計画			活動内容 / 評価(結果と今後の方針)	◎数値(累計)/取組み活動ともに達成、○数値のみ達成、△取組み活動のみ達成、 ×数値(累計)/取組み活動共に未達成		
	目標設定手段		責任者		実績/結果 及び反省点		判定
	課	内容					
廃棄物排出量の削減 2023年度実績 1.46t/億 2024年度目標値 1.43t/億 (2%減)	①製造-本社 ②製造-町田 ③生産管理	不具合品削減 不具合品削減 仕掛数適正化	藤原(責) 藤川 藤原(補)	①NG加工品ミーティング徹底実施 ②品質生産性向上の個別ミーティング ③本社大桑定例先行会議 月1回	実績/結果 廃棄物/億円 2024年 廃棄物排出量の削減(基準 2023年1.46t/億)  目標1.43t/億 2%減 ➡ 実績1.67t/億 16.8%増		△
評価と今後の方針 ①少量多品種生産でのロスの削減 ②カットでの品質問題発生時の情報伝達 ③先行会議 月一回 開催継続				反省点 年末からの受注大幅減に対応できず、リードタイムの長い製の生産調整が十分に出来なかったため、直近の廃棄物排出量が増えてしまった。 取り組みの見直しと次年度への取り組み 受注量の変動に対して生産をどう調整するかを再検討する。また、仕掛量の適正化も再度検討する必要がある。			
水の排水量の削減 (使用量) 2023年度実績 123.0t/億 2024年度目標値 120.5t/億 (2%減)	①製造-本社	パレル-洗浄工程見直し	藤原(責)	①パレル工程の時間短縮テスト	実績/結果 水t/億円 2024年 水の排水量の削減(基準 2023年123.0t/億)  目標120.5t/億 2%減 ➡ 実績113.4t/億 5.9%減		◎
評価と今後の方針 ①パレル加工における水の使用量は安定しているので、受注変動と生産調整の相関に注意を払い、余計な生産を抑制する。				反省点 仕上パレルについてはデンソーの生産計画が大きく崩れなかったため、水の使用に関しては大きな変動が発生しなかった。 取り組みの見直しと次年度への取り組み 受注内容の変動と水の使用量の相関に引き続き注視する。			

環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況 (本社、町田工場) 6/18

2024年度目標	取組み計画		活動内容 / 評価(結果と今後の方針)	◎数値(累計)/取組み活動:ともに達成、 ○数値のみ達成、 △取組み活動のみ達成 ×数値(累計)/取組活動:共に未達成		
	目標設定手段			実績/結果 及び反省点	判定	
	課	内容				責任者
二酸化炭素排出量の 2023年度実績 16,447Kg-CO2/億 2024年度目標値 16,118Kg-CO2/億 (2%減)	①製造・町田 ②生産管理 ③品質保証 ④経理	生産性向上 残業休出削減 客先不具合流出防止 照明LED化	藤川 藤原(隆) (新屋) 高林	①各作業者の能動的な改善活動 ②人員削減に対応した部署間の多能工化 ③人員削減に対応した検査体制の整備 ④人員削減に対応した業務体制の整備 評価と今後の方針 ①個人別改善活動の継続 ②部署を跨いだ多能工化の検討 ③品質管理者の教育・育成 ④新たな改善課題の検討	実績/結果 Kg-CO2/億円 2024年 二酸化炭素排出量の削減 (基準 2023年 16,477Kg-CO2/億) 目標 16,188Kg-CO2/億 2%減 → 実績 17,545Kg-CO2/億 8.4%増 反省点 前年度までの集計にガソリン・灯油の使用による二酸化炭素排出が計算されていないことが判明した。2024年度分より数値を加算したため目標超過となった。 取り組みの見直しと次年度への取り組み ガソリン灯油の使用を念頭に置いたCO2排出量の管理を行う	△
化学物質使用量削減 2023年度実績 0.255t/億 2024年度目標値 0.250t/億 (2%減)	①製造・本社	新しい研削液テスト	藤原(重)	①モレスコ製研削液の検証と運用開始 評価と今後の方針 ①研削液のモレスコ製への移行は完了 定期的な濃度チェックの継続と、品質管理を徹底する。	実績/効果 化学物質t/億円 2024年 化学物質使用量の削減 (基準 2023年 0.255t/億) 目標0.250/億 2%減 → 実績 0.189t/億 24.4%減 反省点 昨年度の科学物質の使用超過に対応し、在庫品余剰品の見直しの成果が出た。化学物質の使用方法については大きな変化はなし。 取り組みの見直しと次年度への取り組み 化学物質の購入については生産量の変動を意識して調整する	◎

環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況 (本社、町田工場) 7/18

2024年度目標	取組み計画		活動内容 / 評価(結果と今後の方針)	◎数値(累計)/取組み活動:ともに達成、○数値のみ達成、△取組み活動のみ達成、 ×数値(累計)/取組活動:共に未達成 (◎3S手順完了、○定期3S活動実施、×3S活動無)	
	目標設定手段			実績/結果 及び反省点	判定
	課	内容			
グリーン購入 2023年度実績 93件 2024年度目標値 100件	①経理 ②営業 ③資材	グリーン購入推進 グリーン購入推進 グリーン購入推進	高林 藤原 藤原(隆)	エコ商品の購入 実績/結果 目標 エコ製品 100件購入 実績 エコ製品 102件購入 評価と今後の方針、反省点 エコ商品のバリエーションは頭打ちになっている	◎
製品、サービスに関する環境配慮 2023年度実績 174件 2024年度目標値 180件	①改善委員会	改善活動継続実施	社長 藤原隆 安藤 佐藤力 夏井	・事務所の改善活動のとりまとめ ・品質保証部門の改善活動とりまとめ ・検査作業員の改善活動とりまとめ ・製造部門の改善活動とりまとめ 実績/結果 改善目標 件数 120件/年(本社) 60件/年(町田) 改善件数 (本社) 133件 (町田) 55件 反省点 本社・町田工場とも従業員数の削減・入れ替わりなどもあり、 QCD活動のとりまとめが中途半端になった。 評価と今後の方針 社長指導により、継続活動と並行して新しい改善案件を実行している	○
3S活 (整理、整頓、清掃)	①3S委員会	3S活動継続実施	新野 中上 夏井 柿沼 安藤	①月一回の3S改善会議実施 ②事務所に新たな棚の設置 ③砥石交換時の機械清掃の実施 ④マイクロカット・アンチラストの使用量削減 ⑤社内3S項目のとりまとめ・進捗管理 実績/結果 月一回の3S会議実施と進捗管理のとりまとめ継続中 反省点 3S活動と改善活動の重複した内容が出てくることも多くなってきた。 評価と今後の方針 ①毎月第一水曜日の会議実施継続 ②人員削減に対応したレイアウト変更を実施 ③人員削減に対応したレイアウト変更を実施 ④設備管理の実施方法	◎

6. 次年度環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況(本社、町田工場) 8/18

2024年度目標	取組み計画		責任者	活動内容 / 評価(結果と今後の方針)	◎数値(累計)/取組み活動:ともに達成、○数値のみ達成、△取組み活動のみ達成、 ×数値(累計)/取組活動:共に未達成		判定
	課	内容			実績/結果 及び反省点		
廃棄物排出量の削減 2024年度実績 1.67t/億 2025年度目標値 1.64t/億 (2%減)	①製造・本社 ②製造・町田 ③生産管理	不具合品削減 不具合品削減 仕掛数適正化	藤原(重) 藤川 藤原(晴)	計画 計画 計画	実績/結果 廃棄物t/億円 2025年 廃棄物排出量の削減(基準 2024年1.67t/億) 		
				評価と今後の方針	反省点	取り組みの見直しと次年度への取り組み	
水の排水量の削減 (使用量) 2024年度実績 113.4t/億 2025年度目標値 111.1t/億 (2%減)	①製造・本社	パレール洗淨工程見直し	藤原(重)	計画	実績/結果 水t/億円 2025年 水の排水量の削減(基準 2024年113.4t/億) 		
				評価と今後の方針	反省点	取り組みの見直しと次年度への取り組み	

6. 次年度環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況(本社、町田工場)

2024年度目標	取組み計画			活動内容 / 評価(結果と今後の方針)	◎数値(累計)/取組み活動:ともに達成、○数値のみ達成、△取組み活動のみ達成 ×数値(累計)/取組活動:共に未達成		
	目標設定手段		責任者		実績/結果 及び反省点		判定
	課	内容					
二酸化炭素排出量の 2024年度実績 17,545Kg-CO2/億 2025年度目標値 17,194Kg-CO2/億 (2%減)	①製造・町田 ②生産管理 ③品質保証 ④経理	生産性向上 人員削減対応 品質管理者育成 新課題検討	藤川 藤原(隆) 高林	計画	計画	実績/結果 Kg-CO2/ 億円 2025年 二酸化炭素排出量の削減 (基準 2024年 17,545Kg-CO2/億) 目標 17,194Kg-CO2/億 2%減 → 実績	
				計画	計画		
化学物質使用量削減 2024年度実績 0.189t/億 2025年度目標値 0.185t/億 (2%減)	①製造・本社	生産変動対応	藤原(重)	計画	計画	実績/効果 化学物質t/ 億円 2024年 化学物質使用量の削減 (基準 2023年0.189Kg/億) 目標0.185Kg/億 2%減 → 実績	
				計画	計画		

6. 次年度環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況(本社、町田工場)

10/18

2024年度目標	取組み計画			活動内容 / 評価(結果と今後の方針)	◎数値(累計)/取組み活動:ともに達成、○数値のみ達成、△取組み活動のみ達成、×数値(累計)/取組活動:共に未達成(◎3S手続完了、○定期3S活動実施、×3S活動無)		
	目標設定手段		責任者		実績/結果 及び反省点		判定
	課	内容					
グリーン購入 2024年度実績 102件 2025年度目標値 100件	①経理 ②営業 ③資材	グリーン購入推進 グリーン購入推進 グリーン購入推進	高林 藤原(重) 藤原(隆)	エコ商品の購入	実績/結果 目標 エコ製品 100件購入 実績 エコ製品		
				評価と今後の方針、反省点	取り組みの見直しと次年度への取り組み		
製品、サービスに関する環境配慮 2024年度実績 188件 2024年度目標値 提案190件	①改善委員会	改善活動継続実施	社長 藤原(重) 藤川 新屋 藤原(隆) 夏井 安藤	計画中 計画中 計画中 計画中 計画中 計画中	実績/結果 改善目標 件数 120件/年(本社) 60件/年(町田) 改善件数 0件/年		
				評価と今後の方針	反省点		
					取り組みの見直しと次年度への取り組み		
3S活 (整理、整頓、清掃)	①3S委員会	3S活動継続実施	社長 新野 中上 夏井 柿沼 安藤 藤原隆	3S改善会議実施継続	実績/結果		
					反省点		
				評価と今後の方針	取り組みの見直しと次年度への取り組み		

2024年度目標	取組み計画		責任者	活動内容 / 評価(結果と今後の方針)	○数値(累計)/取組み活動:ともに達成、 ○数値のみ達成、 △取組み活動のみ達成、 ×数値(累計)/取組み活動:共に未達成	
	目標設定手段				実績/結果 及び反省点	判定
	課	内容				
廃棄物排出量の削減 2023年度実績 22.01t/億 2024年度目標値 21.56t/億 (2%減)	第一製造	工具寿命アップ	東原	①チップの種類変更NM160404PMG ②チップの種類変更G2M2520N-003PF ③チップの種類変更CCMT09T304-UM4325 ④使用した防錆油を回収して再利用 ⑤砥石変更 MC80N-RZS60N ⑥外箱のサイズ変更により、隙間を無くす ⑦使用済みコピー用紙をメモ用紙に利用 ⑧検査成績書電子保存後に複合機裏紙へ使用	実績/結果 廃棄物t/億円 2024年 廃棄物排出量の削減(基準 2023年22.1t/億) 目標21.56t/億 2%減 ➡ 実績20.98t/億 5%減	◎
	第二製造	防錆油回収再利用				
2023年度実績 22.01t/億 2024年度目標値 21.56t/億 (2%減)	生産管理	梱包段ボール改善	原		反省点 前半での活動の効果が得られませんでした、10月より活動の効果が得られました	
	品質管理	裏紙再利用				
水の排水量の削減 (使用量) 2023年度実績 2,183t/億 2024年度目標値 2,139t/億 (2%減)	第一製造	手洗い蛇口改善	武橋山	①混合水栓設置 ②節水を意識する ③R/バレル選別機を更新 入れ替え ④節水を意識する ⑤節水を意識する	実績/結果 水t/億円 2024年 水の排水量の削減(基準 2023年 2,183t/億) 目標2,139t/億 2%減 ➡ 実績2,333t/億 6%増	△
	第二製造	設備更新				
2023年度実績 2,183t/億 2024年度目標値 2,139t/億 (2%減)	生産管理	手洗い節水	全員		反省点 今年度は、特に水を多く使用していますバレル工程の活動が、無かったため効果が得られませんでした。又、全社で節水を意識していましたが効果が得られなかった。	
	品質管理	手洗い節水				

環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況及びその評価結果（大桑事業所）

2024年度目標	取組み計画			活動内容 / 評価(結果と今後の方針)	◎数値(累計)/取組み活動・ともに達成、 ○数値のみ達成、 △取組み活動のみ達成 ×数値(累計)/取組活動・共に未達成		
	目標設定手段		責任者		実績/結果 及び反省点		判定
	課	内容					
二酸化炭素排出量 2023年度実績 235,098Kg-CO2/億 2024年度目標値 230,396Kg-CO2/億 (2%減)	第一製造	測定時間短縮	原	①画像寸法測定器への登録による測定の効率UP ②プログラム変更によるノック外動作2回→1回 ③センタードリルφ8→φ12に変更 ④背面前後ノーズR0.2に変更 ⑤加工条件変更(プログラム変更) ⑥Rパレル選別機を更新 入れ替え ⑦砥石変更 MC60N→RZS60N ⑧投入機自動化完了 ⑨運送便へアイドリングストップを依頼(表示) ⑩検査成績書電子保存後に複合機裏紙へ使用 評価と今後の方針 ①16件登録済 短縮時間19,200秒→2,880秒85%減 ②24秒→21秒に短縮13%減 ③506個/日→524個/日 4%アップ ④加工日数11.4日→7.4日(4日短縮) 35%減 ⑤加工日数51.6日→46.1日(5.5日短縮) 11%減 ⑥1回の選別40分→20分 2時間/日減 ⑦ドレス回数960回/年→480回/年 50%減 ⑧作業時間32時間/月短縮 ⑨CO2排出削減、エンジン音無し 効果あり ⑩A4コピー用紙24,000枚/年減	実績/結果		◎
	"	サイクルタイム短縮	東		2024年 二酸化炭素排出量の削減 (基準 2023年 235,098Kg-CO2/億) 目標230,396Kg-CO2/億 2%減 → 実績224,333Kg-CO2/億 5%減		
	"	サイクルタイム短縮	原		反省点		
	"	サイクルタイム短縮	原		各工程での改善が進み効果が得られた		
	"	サイクルタイム短縮	東		取組みの見直しと次年度への取組み		
	"	サイクルタイム短縮	東		次年度も同一の計画により改善活動を実施する		
	第二製造	設備更新	森山				
	"	砥石改善	永田				
	"	矯正機投入機改修	尾崎				
	生産管理	アイドリングストップ	古川				
品質管理	ペーパーレス	弓谷					
化学物質使用量削減 2023年度実績 8.98t/億 2024年度目標値 8.38t/億 (2%減)	第一製造	油漏れ改善	今井	①ホース緩み、受け改善、パッキン交換、出口改善 ②PBL液体コンパウンドLC513→AR3AIに変更 ③SB添加材NCOOL88→CLBC-11に変更 ④使用した防錆油を回収して再利用 ⑤添加材PK6055→クリマックスA1へ変更 ⑥48ℓ/年→20ℓ/年(△28ℓ) 58%減 評価と今後の方針 ①油漏れが低減となりました ②使用量300CC→200 CC 34%減 ③使用量300CC→100 CC 57%減 ④防錆油購入5%減 ⑤添加材500CC→300CC 40%減	実績/効果		◎
	第二製造	使用量削減	森山		化学物質t/億円 2024年 化学物質使用量の削減 (基準 2023年 8.98t/億) 目標8.38t/億 2%減 → 実績 6.09t/億 10%減		
	"	使用量削減	森山		反省点		
	"	防錆油回収再利用	森山		パレル工程における、添加剤改善の効果が得られた。		
	"	添加材使用量削減	森山		取組みの見直しと次年度への取組み		
	生産管	防錆油の節約	尾前		次年度も同一の計画により改善活動を実施する		
	第一製造	油漏れ改善	今井				
	第二製造	使用量削減	森山				
	"	使用量削減	森山				
	"	防錆油回収再利用	森山				
"	添加材使用量削減	森山					

環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況及びその評価結果（大桑事業所）

13/18

2024年度目標	取組み計画			活動内容 / 評価(結果と今後の方針)	◎数値(累計)/取組み活動:ともに達成、○数値のみ達成、△取組み活動のみ達成、×数値(累計)/取組み活動:共に未達成 (◎3S手順完了、○定期3S活動実施、×3S活動無)		
	目標設定手段		責任者		実績/結果 及び反省点		判定
	課	内容					
グリーン購入 2023年度実績 165件 2024年度目標値 173件 (5%UP)	第一製造	エコ製品の購入	下澤	①エコ製品の購入 エコ製品の調査と開示により購入を促進する 評価と今後の方針、反省点 購入品における再生品が増加しているため エコ製品が目標より大幅にアップできた。	実績/結果 目標 エコ製品 173件購入 実績 エコ製品 219件購入	◎	
	第二製造	"	藤懸				
製品、サービスに関する環境配慮 2023年度実績 151件 2024年度目標値 154件 年2件/1人 (77人)	第一製造	加工方法の見直し 打ちキズ対策	下澤	①加工レイアウト変更、正面鏡一背面鏡に変更 ②バラ置き一並べ置きに変更 ③2-25号粗さが悪くなる原因調査、メーカー修理 ④プローブ位置調整用台製作設置 ⑤塩ビパイプにより並べトレイ詰め ⑥トレイを1枚→2枚向合わせにして並べ作業実施 ⑦検査作業効率UP客先への出荷品の納期遅延 ⑧内径溝の寸法測定を製作し測定実施 ⑨外径テーパー測定換算表作成	実績/結果 改善目標 154件/年 改善件数 184件/年	◎	
	第二製造	"	舟島				
3S活 (整理、整頓、清掃) 1回/2ヶ月 パトロールチェック実施	第一製造	トイレ匂い改善	舟島	①トイレ換気扇修復工事完了 他 ②パレルメディアの3S完了 他 ③外観検査室レイアウト変更機並びを1人毎に変更 ④落ちこぼれ拾い用具による落ちこぼれ回収 ⑤検査関連資材を一か所で管理する ⑥パソコンによる仕掛品色識別管理 ⑦テープ類、ひも類を収納ボックス入れ一元管理	実績/結果 パトロールチェック実施 1回/月 5S監査員 1回/月 社長、専務 指摘事項を赤札表示し次月までには是正処置を行っています	◎	
	第二製造	"	森山				
2024年度目標値 173件 (5%UP)	第一製造	加工方法の見直し 打ちキズ対策	下澤	評価と今後の方針 ①加工数208個/日→212個/日 2%アップ ②打ちキズ打ちキズゼロになりました ③ベアリング交換により、粗さの問題が解決した ④外径、端面測定が簡素化が実現した ⑤1箱の箱詰め時間3分短縮 ⑥並べ作業時間 30分/日短縮 ⑦分業作業リストにより、検査員への検査指示 ⑧市販にないため、測定が可能となりました。 ⑨テーパー外径測定が効率UPとなりました。	反省点 改善件数は、目標を達成できました。改善者が片寄っているため 全員が改善提案を提出できるように現在指導を行っています。	◎	
	第二製造	"	舟島				
2024年度目標値 154件	第一製造	加工方法の見直し 打ちキズ対策	下澤	評価と今後の方針 ①加工数208個/日→212個/日 2%アップ ②打ちキズ打ちキズゼロになりました ③ベアリング交換により、粗さの問題が解決した ④外径、端面測定が簡素化が実現した ⑤1箱の箱詰め時間3分短縮 ⑥並べ作業時間 30分/日短縮 ⑦分業作業リストにより、検査員への検査指示 ⑧市販にないため、測定が可能となりました。 ⑨テーパー外径測定が効率UPとなりました。	取り組みの見直しと次年度への取り組み 1人/1件以上のどんな小さな改善でも取り上げ取り組む 全体屋礼で改善について啓蒙実施	◎	
	第二製造	"	舟島				
年2件/1人 (77人)	第一製造	加工方法の見直し 打ちキズ対策	下澤	評価と今後の方針 ①加工数208個/日→212個/日 2%アップ ②打ちキズ打ちキズゼロになりました ③ベアリング交換により、粗さの問題が解決した ④外径、端面測定が簡素化が実現した ⑤1箱の箱詰め時間3分短縮 ⑥並べ作業時間 30分/日短縮 ⑦分業作業リストにより、検査員への検査指示 ⑧市販にないため、測定が可能となりました。 ⑨テーパー外径測定が効率UPとなりました。	取り組みの見直しと次年度への取り組み 1人/1件以上のどんな小さな改善でも取り上げ取り組む 全体屋礼で改善について啓蒙実施	◎	
	第二製造	"	舟島				
3S活 (整理、整頓、清掃) 1回/2ヶ月 パトロールチェック実施	第一製造	トイレ匂い改善	舟島	評価と今後の方針 ①匂いがなくなり、悪臭がしなくなった。 ②表示、整理、清掃完了 ③集中して検査が出来る様になった ④手の届かない落ちこぼれ品回収が容易と成った ⑤移動距離短縮となり作業効率がアップした ⑥仕掛品処理の作業効率がアップした ⑦一か所で管理出来効率がアップした	反省点 指摘事項を改善して、提案としています	◎	
	第二製造	"	森山				
パトロールチェック実施	第一製造	トイレ匂い改善	舟島	評価と今後の方針 ①匂いがなくなり、悪臭がしなくなった。 ②表示、整理、清掃完了 ③集中して検査が出来る様になった ④手の届かない落ちこぼれ品回収が容易と成った ⑤移動距離短縮となり作業効率がアップした ⑥仕掛品処理の作業効率がアップした ⑦一か所で管理出来効率がアップした	取り組みの見直しと次年度への取り組み パトロールチェックにて赤札表示、是正、改善を進めていく	◎	
	第二製造	"	森山				
仕掛品管理の整理 備品の整理	第一製造	仕掛品管理の整理 備品の整理	武藤	評価と今後の方針 ①匂いがなくなり、悪臭がしなくなった。 ②表示、整理、清掃完了 ③集中して検査が出来る様になった ④手の届かない落ちこぼれ品回収が容易と成った ⑤移動距離短縮となり作業効率がアップした ⑥仕掛品処理の作業効率がアップした ⑦一か所で管理出来効率がアップした	取り組みの見直しと次年度への取り組み パトロールチェックにて赤札表示、是正、改善を進めていく	◎	
	第二製造	"	武藤				

次年度環境経営計画（大桑事業所） 14/18

2025年度目標	取組み計画			活動内容 / 評価(結果と今後の方針)	◎数値(累計)/取組み活動:ともに達成、○数値のみ達成、△取組み活動のみ達成、×数値(累計)/取組み活動:共に未達成		判定		
	目標設定手段	責任者	活動内容 / 評価(結果と今後の方針)		実績/結果 及び反省点				
	課	内容	責任者		実績/結果 及び反省点				
廃棄物排出量の削減 2024年度実績 20.98t/億 2025年度目標値 20.56t/億 (2%減)	第一製造	①切削油 廃液使用軽減	下澤	①各メーカー調査実施 ②刃具寿命調査 グラフ化 ③圧縮機検討 ④磁石検計 ⑤マグネットセパレーター設置 ⑥品買文書 電子文書化 ⑦包装資材見直し	実績/結果 廃棄物t / 億円 2025年 廃棄物排出量の削減 (基準 2024年20.98t/億) 				
	第一製造	②刃具経費削減	下澤					目標20.56t/億 2%減 → 実績	
第一製造	③切削粉砕処分	下澤	反省点						
第二製造	④磁石経費削減	永田	取組みの見直しと次年度への取組み						
第二製造	⑤スラッジ処理見直し	永田							
品質管理	⑥ペーパーレス	清水							
生産管理	⑦包装資材削減	田中							
				評価と今後の方針					
水の排水量の削減 (使用量) 2024年度実績 2,333t/億 2025年度目標値 2,286t/億 (2%減)	第一製造	①節水	下澤	①手洗い等の節水 ②加工時間の見直し調査改善 ③バレル洗浄方法の調査と処理方法改善 ④手洗い等の節水 ⑤手洗い等の節水	実績/結果 水t / 億円 2025年 水の排水量の削減 (基準 2024年2,333t/億) 				
	第二製造	②バレル効率UP	永田					目標2,286t/億 2%減 → 実績	
第二製造	③バレル洗浄方法見直し	永田	反省点						
品質管理	④節水	清水	取組みの見直しと次年度への取組み						
生産管理	⑤節水	田中							
					評価と今後の方針				

次年度環境経営計画（大桑事業所） 15/18

2025年度目標	取組み計画		活動内容 / 評価(結果と今後の方針)	◎数値(累計)/取組み活動:ともに達成、 ○数値のみ達成、 △取組み活動のみ達成 ×数値(累計)/取組み活動:共に未達成	
	目標設定手段			実績/結果 及び反省点	
	課	内容		責任者	判定
二酸化炭素排出量 2024年度実績 224,333Kg-CO2/億 2025年度目標値 219,846Kg-CO2/億 (2%減)	第一製造	①刃具類の見直し	下澤	①メーカーと打ち合わせし、刃具類選定	実績/結果 Kg-CO2/億円 2025年 二酸化炭素排出量の削減 (基準 2024年 224,333Kg-CO2/億) 目標219,846Kg-CO2/億 2%減 → 実績
	第二製造	②加工効率UP	下澤	②加工サイクルタイム見直し	
	第二製造	③加工効率UP	永田	②工程別加工方法見直し	反省点 取り組みの見直しと次年度への取り組み
	品質管理	③不良削減	清水	③社内不良発生防止、過去トラの確認と対策標準化	
	生産管理	④検査方法見直し	田中	④外観検査改善実施	
				評価と今後の方針	
化学物質使用量削減 2024年度実績 8.09t/億 2025年度目標値 7.92t/億 (2%減)	第一製造	①切削油、液使用軽減	下澤	①各メーカー調査実施	実績/効果 化学物質t/億円 2025年 化学物質使用量の削減 (基準 2024年 8.09t/億) 目標7.92t/億 2%減 → 実績
	第二製造	②研削液濃度	永田	②濃度調査と適切な濃度管理による標準化	
	第二製造	③レベル添加剤削減	永田	③メーカーと打ち合わせし、添加剤の選定	反省点 取り組みの見直しと次年度への取り組み
	第二製造	④洗浄油の使用方	永田	④洗浄方法の見直し改善	
	全社	⑤廃油の再生	全員	⑤廃油処理における再生の検討	
				評価と今後の方針	

次年度環境経営計画（大桑事業所） 16/18

2025年度目標	取組み計画			活動内容／評価(結果と今後の方針)	⑥数値(累計)/取組み活動:ともに達成、○数値のみ達成、△取組み活動のみ達成、×数値(累計)/取組み活動:共に未達成 (◎3S手順完了、○定期3S活動実施、×3S活動無)		
	目標設定手段		責任者		実績/結果 及び反省点		判定
	課	内容					
グリーン購入 2024年度実績 219件 2025年度目標値 223件 (2%UP)	第一製造	①エコ製品の購入	下澤	①エコ製品の購入 エコ製品の調査と開示により購入を促進する	実績/結果 目標 エコ製品 223件購入 実績		
	第二製造	"	永田				
	品質管理	"	清水	評価と今後の方針、反省点	取り組みの見直しと次年度への取り組み		
	生産管理	"	田中				
製品、サービスに関する環境配慮 2024年度実績 184件 (77人) 2025年度目標値 142件 (71人) 年2件/1人	第一製造	①加工方法の見直し	下澤	①加工方法、作業方法の効率UP簡素化 ②加工方法、作業方法の効率UP簡素化 ③測定器及び測定結果の管理方法改善 ④生産管理に関連する処理方法を改善する	実績/結果 改善目標 142件/年 改善件数		
	第二製造	②加工方法の見直し	永田				
	品質管理	③測定方法見直し	清水	評価と今後の方針	反省点		
	生産管理	④生産管理方法見直し	田中				
					取り組みの見直しと次年度への取り組み		
3S活動 (整理、整頓、清掃) 1回/月 パトロールチェック実施	第一製造	①工具箱、棚等、消耗品	下澤	①パトロールチェックの結果の対策及び部署内で改善実施	実績/結果 1回/月 パトロール及び指摘事項の是正処置		
	第二製造	"	永田				
	品質管理	"	清水	評価と今後の方針	反省点		
	生産管理	"	田中				
					取り組みの見直しと次年度への取り組み		



9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規は、下記の通りです。

環境関連法規への遵守状況のチェック表 (全体) (2025年3月30日現在)

分類	名称	該当要求事項	対象施設・項目	違反事項
水質	・下水道法 ・水質汚濁防止法 ・浄化槽法	・特定施設の届出 ・排水基準の遵守 ・水質測定・記録 ・その他	・酸、アルカリによる 表面処理	無し
廃棄物	廃棄物の処理及び 清掃に関する法律 フロン排出抑制法	・産業廃棄物業者 の認定許可証の保管 ・産業廃棄物マニフェストの管理 ・産業廃棄物業者の処理状況 を現地確認、又は写真等にて入 手する(年/1回) ・第一種特定製品を四半期に一 回簡易点検を実施する ・その他	・金属くず ・廃液 ・汚泥 ・板プラスチック ・記録 エアコン・コンプレッサー ・テラー ・その他	無し
	水銀廃棄物による環境の 汚染防止に関する法律	・産業廃棄物の保管等の表示	・水銀廃棄物 蛍光管等	無し
化学物質	毒物及び劇物取締法	・溢漏/漏液防止 ・容器の表示 ・保管施設への表示	・希硫酸 ・塩酸	無し
	PRTR 法	・年1'以上、従業員25名 以上、全国加工業の3つ の条件を満たす場合		無し
	消防法	・危険物貯蔵所、取扱所 設置の届出 ・危険物取扱い監督者の 監督下での取扱い	・貯蔵所 ・第4類第2石油類 ・第4類第3石油類 ・第4類第4石油類	無し
	労働安全衛生法	・特定化学物質の取扱い の掲示 ・その他	・液化アンモニア ・コンパウンド(GPP) ・消石灰	無し
循環型社会	循環型社会形成推進基 本法	・グリーン購入の推進、 ・その他	・事務用品	無し
騒音、振動	騒音規制法 振動規制法	・届出 ・騒音、振動基準の厳守	・空気圧縮機	無し
その他	自動車リサイクル法 工場立地法 その他	・車検又は買い替え時 リサイクル料の支払い ・緑化0.5% ・その他	・社有車 ・報告等	無し

違反、訴訟の有無

環境関連法規について、環境管理責任者が中心となり
法規の遵守状況についてチェックを行い確認しました。
その結果 大桑事業所は認証取得して以来 19 年間におい
て違反はない。

同じく本社においても 認証取得して以来 13 年間、町田
工場 7 年間、現在違反等の問題は無い。又 本社、町田工
場、大桑事業において関係行政機関、近隣住民、
顧客からの指摘、苦情及び訴訟は 1 件もありません。

代表者による全体の取り組み状況の評価と見直し・指示の結果

- ・環境経営方針 改訂なし
- ・環境経営目標及び環境経営計画

<指示の結果>

QCD 実践表による、改善のレベルが毎年レベルアップして来た。

〔指示の結果〕 2024年 改善件数 本社 133件、町田工場 55件、大桑事業所 184件
合計 372件

<評価>

エコアクション21の活動における改善により、利益が確保できている。
皆の改善改良により節約、節減出来ている。このような努力無くして利益の確保はできない。

<見直し>

全社員が改善改良、品質アップを目標として活動してください。
仕事は常に改善して、良くしていくものです。
リーダーは大変ですが協和工業の基礎と成るように、活動を熱心に進めてください。
このような、努力無くして利益の確保はできない。皆が能力アップすれば、協和工業の能力アップと成る。

製造業は皆の協力が無ければ成果が出ない。見直しを行い知恵を絞り改善、改良を進めてほしい。

以上